

地域福祉かわら版

YOMO-DE! よもーで

第23号



ふくし教育 (ふだんのくらしのしあわせ)

夏休みが終わり、学校が始まりました。皆さん、どんな夏休みを過ごしましたか？

新型コロナウイルス感染症で、ふだんの暮らしを送ることができなかった方も多くいると思います。

佐世保市社会福祉協議会では、小・中学校でのふくし教育に力を入れていきます。

ふくし教育の内容は、学校の先生と一緒に考え、様々な人との出会いや交流から、他人を思いやり、互いに支えあう「ともに生きる力」を育むことを目指しています。

今年も新型コロナウイルスで、先が見えず、予定が立てにくい学校もあるようですが、夏休み前に、数校の小・中学校で、ふくし教育を実施しました。

バリアフリーやユニバーサルデザインについての授業、視覚障がい者の方による体験談、アイマスクや車いすの体験、車いすバスケット選手との交流、寸劇（認知症の方への対応の仕方・車いす使用時の対応）、地域を支えている方との交流等々を行い、『ふくし』について学んでいます。



子どもたちからは「車いすやアイマスクの体験をして不便なことと出来ることが分かりました」「障がいがあっても、普通の生活ができる」「みんなが住みやすい地域にしたい」「手助けをしたい」等の感想がありました。

未来の佐世保市を担う小・中学校の皆さん、『ふくし』は「高齢者や障がい者の方のためのもの」といった特別なものではなく、お互いが支えあい、「地域みんなが幸せになるため」のものです。



現在、皆さんは新型コロナウイルスという見えない敵と戦っています。

このよくな時こそ、地域との繋がりや心のつながりが大切です。自分の住んでいる町について考えてみてください。

みんなの考えや行動が未来の佐世保市の『ふくし』につながっています。

今こそ『ワンチーム！』で頑張りましょう。

ふくし教育に取り組みたい、学習したいと希望される学校や地域の方がおられましたら、お気軽にご連絡ください。

知ってますか？

ふくし豆ちしき

①



②



③



この3つのマークの意味は何かな？
身近で見たことはありませんか？

☆答は裏面だよ！

